

Monarissimo 紹介

モナリッシモはモナとベリッシモ（伊語で素晴らしいの意）をミックスした造語です。

このコーナーは、モナ周辺に在住の方で、常に新しいことにチャレンジし続けている素敵な女性をご紹介します。

◀ 崎野 和子さん プロフィール (元祇園「豊和」女将、井上流名取り)

1946年	京都府祇園に生まれる
1962年	舞妓になる
1973年	井上流名取りになる
1993年	祇園に料理屋「豊和」オープン
2001年	結婚し浦安に転居



◀ 祇園に生まれ、小さな頃から京都の伝統になじんで育ち、伝統的な京舞や邦楽をたしなまれるとお聞きしましたが

みなさんをご存じの通り祇園は古い伝統が残り、現在でも大切にされている街です。6人兄妹の末で女の子は私1人でしたが、小さな頃から京舞や邦楽などを習っていました。7つの頃には井上流の舞のお稽古を始め、邦楽の太鼓では姿勢を正しくする事を自然と学びました。父や母には小さな頃から行儀作法を厳しく教えられたおかげで、最近では忘れられがちなお作法を学びましたし、着物を着る事も日常的だったものですから、和服にふさわしいしぐさを身につけられたのだと思います。現在でもそのお陰で着物も1人で着る事ができますし、歌舞伎なども楽しく見る事ができます。

そんな環境もあり、浦安に移る前はお料理屋を出していましたが、京都らしい雰囲気を持ったお料理屋として祇園に来られる方に親しんで頂けました。性格でしょうか、人が喜んでおられる顔を見たり、おもてなしをすることがとても好きなのです。

◀ 長く京都に住まれ、こちらに移ってこられたきっかけは？

結婚がきっかけで浦安に移ってきました。単身赴任をしていた主人と兄とが知人だったことから、京都で知り合い結婚しました。移ってきた当時は、当然知らない人ばかりでしたし、生活も大きく変わりました。でも人と交わるのが好きな性格は変わらないものですから、毎日スーパーに行けばお店の人に話しかけたり知らない人にもすれ違えば挨拶したりしているうち、今では自治会の役員になってお祭りでは踊りを踊ったり、こちらに来てから始めたお稽古事で友達もたくさんできました。今は、洋裁、和裁そしてテニス、水泳を習っています。

小さな頃からのお稽古事を通じて、私は習い事の基本はみんな同じだと思っています。

- 1、まず絶対に休まない事
- 2、教えて頂く先生を好きになり尊敬をして感謝する事
- 3、習い事にもっともっとと欲張る事
- 4、楽しくなるまで頑張る事 等々

時には一生懸命になりすぎてしまうこともありますよ。習い事でも手を抜きません。じっとしているより動き回っていることが楽しくて仕方ないのですね。そしてそこで習い覚えた事を洋裁なら孫に洋服を作ってあげられるように、和裁なら主人の着物をぬってあげたい、など人の喜ぶ顔を思い浮かべて励みにすると習い事もより楽しくなるのです。浦安に移り環境や生活は変わりましたが、和から洋に全く異なるものを習う楽しさを味わい、今では毎日がとても充実しています。また何より、今まで一人で考え実行することが多かったのが、結婚をしたことで一緒に考えてくれる人のいる幸せや二人で生きることの価値に気づいたのだと思います。古い町並みで長く住んで参りましたが、新浦安は新しい街で海が近く、明るいとても住みやすいところです。これからもこの町で新しい人との出会いや、発見を重ねていけたらと思います。

◀ 今後の夢は？

京都の雰囲気の、手作りのおはぎやあんみつなどを出す甘味屋さんの店を出したいと思っています。お出しするものもお抹茶やあんこなどの素材にこだわったり、何より祇園で自然と身についた、京都のおもてなしの心が伝わるようなお店がいいですね。